



第19回 総会報告

2011年度のOB・OG会総会が、8月18日(土)、盆サマーハンドボールに先駆けて、午後3:30からセミナーハウス(旧、北水会館)で開催され、下記の議題が討議、承認されました。

[議題]

- 1. 19期(平成23年度)活動報告
2. 19期(平成23年度)会計報告
3. 19期(平成23年度)監査報告
4. 20期(平成24年度)活動計画(案)
5. 20期(平成24年度)予算(案)
6. 20期(平成24年度)役員体制

第19期(平成23年7月1日~平成24年6月30日)活動報告

Table with 4 columns: 日時, 活動, 会場, 参加者. Lists activities like '会報発行', '役員会', '盆サマーハンドボール' with dates and participant counts.

第20期(平成24年7月1日~平成25年6月30日)活動計画(案)

Table with 4 columns: 日時, 活動, 会場, 参加者. Lists planned activities for the next period, including '会報発行', '役員会', '盆サマーハンドボール'.

平成24年6月30日

平成23年度収支報告書 (H23. 7. 1~H24. 6. 30)

Main financial statement table for FY23. Columns: 項目, 金額, 摘要. Includes sections for (収入の部) and (支出の部) with various items like '前期繰越金', '会費収入', '雑収入', '事業費', etc.

記念事業積立金 (単位:円) table. Columns: 項目, 金額, 摘要. Shows '前期繰越金', '繰入金', '取崩金', '翌期繰越金'.

平成24年8月18日

平成24年度予算書(案) (H24. 7. 1~H25. 6. 30)

Main financial statement table for FY24 budget. Columns: 項目, 金額, 摘要. Includes sections for (収入の部) and (支出の部) with items like '前期繰越金', '会費収入', '雑収入', '事業費', etc.

以上、平成23年度の収支報告を致します。
寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会
会計 井上 武久 ?

上記の収支報告書は、平成23年度の収支の状態を正しく表示していると認めます。
平成24年7月31日

寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会
会計監査 今堀 大逸 ?
吉田 雅子 ?





[平成24年度役員]

会長	赤鹿正剛(3期)	
副会長	寺西啓三(20期)	久木久美子(33期)
幹事長	稲葉清志(43期)	
幹事	深水汎代(17期)	谷村千津子(18期)
	木村慶次(18期)	甫田裕佳里(29期)
	大塚万里子(33期)	中東大輔(58期)
	北崎千咲子(59期)	田村英明(59期)
	三枝智子(61期)	大波多千尋(61期)
	西岡笑子(62期)	佐竹友貴(62期)
	立山茜(62期)	藤澤美穂(63期)
	河野あゆみ(63期)	東別府朋子(63期)
	四田裕則(63期)	山里順也(63期)
	山本幸夫(63期)	嶋戸美音(64期)
	穂谷美緒(64期)	樋渡梨奈(64期)
	湯川広樹(64期)	青木達哉(64期)
	新本崇順(64期)	田村佳太(64期)
会計	井上武久(23期)	
会計監査	今堀太逸(21期)	吉田雅子(29期)
相談役	新堂達夫(16期)	大森孝志(31期)
	田中裕一(31期)	

・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829
 加入者名 寝屋川クラブ

(注) 金額欄には「〒」を書かないで下さい。

この振込用紙には通信欄もありますので、会の運営に対しての、ご意見や近況報告など、お書きください。

・銀行振込利用

振込銀行 住友銀行 川西支店
 口座番号 普通預金 1011226
 口座名義 寝屋川クラブ 井上武久(イノウエ タケヒサ)

・年会費：社会人 5,000円

学生免除(正月、盆サマーハンドへの参加を、優先する為の、運用上の特別扱いとします。)

- 24期 小合省三
- 29期 甫田裕佳里
- 30期 鄭秀紀
- 41期 安田郁
- 43期 小林 恭子



2012年 盆サマーハンド 報告

今年の盆サマーハンド・懇親会が、現役の秋季総合体育大会の関係もあり、8月18日(土)、OB・OG会総会終了後、現役を含む62名の参加により、開催されました。

今年も又、当日の午前中は晴れていたのですが、午後から雨が降り、当初予定していました現役とOB・OGとの親睦試合は、中止となりました。

懇親会は、セミナーハウス(旧、北水会館)3階で、準備していただいた飲み物・寿司をつまみながら、いつ・どこで練習したのかと思われる、現役男女1・2生其々の歌やコントの披露や、恒例のビンゴゲームで、盛り上がった会となりました。

今回は残念ながら、夏の雨の盆サマーハンドでしたが、正月ハンドには1人でも多くのOB・OGの方の参加を、お待ちしております。

2013年 正月ハンドボールのご案内

現役男女が元気です

10~30代の若手OB・OG皆さんの、 多数の参加をお待ちしています

今年度も、新年恒例の「正月ハンドボール」を、下記のとおり開催します。

現役とOB・OGの親睦試合、セミナーハウスでの温かいトン汁・おしるこ、顧問の先生との歓談、恒例のビンゴゲームによる新年会を行います。

近年、現役の人数が増えると共に、元気です。

8月の盆サマーハンドボールとともに、年2回の親睦試合・懇親会、OB・OGの皆さんの参加により、盛り上がった新年会となりますよう、同級生・先輩・後輩に声をかけ、お互い誘い合い、1人でも多くの

会計よりの、御礼とお願い

井上 武久(23期)

会員の皆様には、平素より本会の運営につき、ご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

次掲の、平成24年度(平成24年7月~25年6月)の会費納入のご協力をいただきました方には、あらためて御礼申し上げます。

尚、表は平成24年11月15日現在で作成しておりますので、それ以降に納入の方の未掲載につきましては、ご容赦願います。

今後とも、本会の発展及び、円滑な運営を行うため、年会費の納入につきまして、会員各位のご協力を、よろしく願いいたします。

払い込みには同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みでお願いいたします。



平成24年度(2012.7~2013.6月)

会費納入者

平成 24.11.15 現在

- 3期 睦月欣子 森広洋子 赤鹿正剛 梅垣修三 細川宗雄
中嶋直彦
- 5期 松本由紀子 中東義治 樋上重夫
- 6期 望月滋乃
- 7期 金馬桂子
- 9期 高島美世子 太田敦子 大宮淑子
- 12期 尾亀敬子 中澤三津子
- 13期 土井利勝 平井謙二
- 15期 小倉裕子
- 16期 木野実 新堂達夫
- 17期 中田順子 深水汎代 川口宗一郎
- 18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子 木村慶次
- 19期 平井晴美
- 20期 寺西啓三
- 21期 菊地和代 今堀太逸
- 22期 小森園多恵子 古本まみ
- 23期 名賀三希子 井上武久 葛木啓之



方の参加をいただき、楽しい現役との激励・交流会としたいと思います。

日時：2013年1月12日（土）
 親睦試合：12：00～14：30 ハンドボールコート
 新年会：15：00～16：30 セミナーハウス（旧、北水会館）3階
 会費：500円
 二次会：がんこ寿司・寝屋川店
 <雨天の場合>
 新年会：13：00～14：30 セミナーハウス（旧、北水会館）3階

現役の活動報告

男子 … 顧問 堀川 美子

第67回高校秋季総合体育大会(オープントーナメント方式)

8月8～12日

- 1回戦 ○ 寝屋川 19 — 14 天王寺
- 2回戦 ○ 寝屋川 21 — 13 生野
- 3回戦 ● 寝屋川 17 — 25 大阪学院

第64回高校新人大会、兼、第36回全国選抜予選大会

10月20日～

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 42 — 5 交野
- 寝屋川 34 — 6 桜塚

[北ブロック大会・トーナメント]

- 1回戦 ● 寝屋川 18 — 24 北千里
(中央大会出場ならず)

春の大会が終わって、3年生は全員が引退、受験勉強に全力を注ぐ

ことになりました。

また、今まで忙しい中、男子の面倒を見てくださっていた加堂さん(14期)も、手を引かれることになりました。

本当に長い間、お世話になり、ありがとうございました。

65期の3年生には、程遠いレベルの新チームは、練習では、そこそこの動きができるようになったものの、練習試合をすると、点が取れず、どうしたら勝てるのか、本当に悩みました。

しかし、1年生がどんどん力をつけてきて、尚かつ、ハンドボールがうまくなりたいと、自主練も熱心に参加するので、2年生を追い抜く勢いで伸びてきました。

そんな中、今年も7月25日から、但馬ドームで3泊4日の合宿をしました。

その時までは、2年生チーム、1年生チームと分けて、試合をしていたのですが、主力メンバーを思い切って1・2年混合にし、練習試合を試してみたところ、ディフェンス力・オフェンス力共に、見違えるようになりました。

2年生の一部の生徒にとっては、つらい決断になりましたが、「中央大会に、出場する」という目標を、部員たちが掲げたので、心を鬼にして踏み切りました。

夏の秋季大会まで、今年も寝屋川市民体育館で、練習や練習試合をさせていただきました。

今年は、マネージャーのくじ運がよく、公立高校の天王寺、それに勝てば生野高校の枠でした。

とにかく、公式戦で1勝を！からめざし、試合当日を迎えました。

アップを見る限りでは、誰が見ても、天王寺高校の勝ちだと思われるほど、個人の力は差がありました。

しかし、いざ試合が始まってみると、こちらのデフィエンスの早い詰めで、ロングシュートを打たせず、オフェンスでは、速攻やセットで点を重ね勝つことができました。

それに勢いをつけ、生野高校戦も、勝利することができました。

しかし、大阪学院は3年生が残っていたため、気持ちの点で押され、また、得点源の2年生が怪我で出場できず、前半で力尽きてしまい、上に上がることはできませんでした。

次の新人戦めざして、また一から頑張ろうという矢先、2年生が1

人、また1人と、退部していきました。

突然、他の部員に何の相談もなく、「やめる」と決断し、それを「そうか、仕方ないな」と、受け止める今の生徒の気持ちが、よくわからないのですが、やる気がわかかなければ、本当の力はつかないのだということが、わかりました。

そんなゴタゴタから開放されて、順調に練習し、練習試合でも北千里、茨木、箕面高校などとも、対等に戦えるようになって、少しは力がついたのかなと喜んでいました。

新人戦の抽選で、勝てば、北千里・茨木高校と対戦する枠を、マネージャーが引いてくれた時は、中央大会も夢ではないと、ワクワクしました。

北ブロック・リーグ戦では、交野・桜塚高校ともに圧勝だったのが、少し気になっていたのですが、雨で順延し、10日間ほど練習する時間が持てたので、詰めて練習できて、よかったと思っていました。

それまでは試合前日まで、何か気持ちの点で引き締まったものを感じず、喝を入れられて、当日ピリピリしていました。

しかし、今回は「今の調子で頑張れば、中央大会も行ける」と、おだててしまいました。

それがいけなかったのか、試合が始まってみると、何となく北千里の方が、元気で勢いがあり、前半8-8の同点までは戦っていましたが、ノーマークのチャンスはずし、寝屋川の勢いが、急にしぼんでしまいました。

3点差で、後半が始まってすぐに、フォーメーションが決まったと、思った瞬間、シュートはずし、その後も、チャンスは寝屋川に来ているのに、自ら放棄した結果となりました。

中央大会の壁は、なかなか超えられないんだと、痛感させられましたが、部員たちと、また、基本からやり直していこうと考えています。

春を楽しみに、これから練習です。





女子 … 顧問 赤星 明

第67回高校秋季総合体育大会(オープントーナメント方式)

8月8～12日

- 1回戦 ○ 寝屋川 35 — 0 阿倍野
- 2回戦 ○ 寝屋川 12 — 11 大谷
- 3回戦 ○ 寝屋川 31 — 8 泉北
- 4回戦 ○ 寝屋川 21 — 11 東淀川
- 準決勝 ● 寝屋川 5 — 38 宣真
- 3位決定 ● 寝屋川 10 — 31 城南学園
(大阪4位)

第64回高校新人大会、兼、第36回全国選抜予選大会

10月20日～

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 23 — 11 関大北陽、金蘭会
- 寝屋川 18 — 6 摂津

[北ブロック大会・トーナメント]

- 1回戦 ○ 寝屋川 24 — 9 刀根山
- 準決勝 ○ 寝屋川 14 — 11 千里青雲
- 決勝 ● 寝屋川 7 — 18 北千里
(北ブロック2位、中央大会出場)

女子の秋季総合大会は、フリー抽選で、今年も中央シードベスト4のいないゾーンに、入りました。

1回戦の阿倍野高校には、0点でおさえるようにと、選手に目標を与えました。

16名全員が、試合に出ましたが、緊張感があり、目標どおりの試合になりました。

2回戦は、宿敵大谷高校でした。

昨年の子新人戦で負けており、私が寝屋川高校にきてから、中央大会での対戦成績は、3勝3敗でした。

しかし、大谷高校は、メンバーが外国に留学していて、6名しかいなく、1人少ないと聞いていたので、負けることはないと思っていま

した。

でも、ふたを開けると、キーパーが攻撃に参加し、「マイボールになれば、すぐシュートを狙いなさい」と言う、私の指示でシュートしたのですが、女子の投力は弱く、ことごとく相手のキーパーに戻られ、キャッチされ、相手ボールになりました。

結局、キーパーのいないゴールに得点したのは、前半1点、後半1点でした。

後で考えれば、1度パスを入れて、2人目がシュートだったなど、思いました。

前半は、6対6で折り返し、ハーフタイムに「相手のエースを、半マンツーマン気味に守りなさい」と指示を出し、「この試合に負けると、先生は顧問を辞める」と、少し脅してみたいなことも、言いました。

しかし、相手のエースにかき回され、苦しい試合でした。

最後は、1点差で逃げ切ってくれて、「これで、顧問を辞めずにすんだ」と、ホッとしました。

準決勝であたった宣真高校には、スピードの違いを、見せ付けられました。

3位決定戦の城南学園戦では、「10点取れ、30点に抑えろ」と、目標を与えましたが、今の力では、こんな感じかなと思いました。

新人戦の前には、練習試合を多くしましたが、テスト終了の次の日とか、修学旅行から帰ってきて2日目とか、体調とか、モチベーションが悪く、負け試合が多かったです。

しかし、公式戦まで、1週間で仕上げなければと、思っていました。

新人戦では、リーグ戦を2勝し、次の刀根山高校戦も、ベンチに入っている16名全員を、試合に使うことができました。

ここまでは、予定どおりと思っています。

次の試合からが、勝負だと思いましたが、公式戦3日前の、寝屋川市民体育館での練習で、ポストプレーヤーの選手が、1対1の時に足を痛めました。

テーピングで、試合に出ればいいかと思いましたが、次の日病院で、じん帯が切れているとのことで、ギプスと松葉杖で登校しました。

急遽2日目の練習は、ポストを入れ替えて、フォーメーションプレ

ーなどを練習しました。

準決勝の千里青雲高校は、この春、公立高校1位になり、近畿大会に出場していましたが、練習試合などをして、手ごたえはありました。

ポストプレーヤーがいない分、気持ちが一つになったような気がしました。

前半4点差をつけ、そのまま逃げ切りました。

この時は、1・2・3のディフェンスがよく機能して、守りは完璧でした。

決勝は、ディフェンスを1・2・3にするか、0・6にするか迷いましたが、このままの勢いで、行けるところまで行こうと思いました。

しかし、準決勝・決勝と2試合目のことでもあり、攻撃型ディフェンスの1・2・3では、疲れが出て足が止まり、ガタガタになりました。

途中で、0・6ディフェンスに変えたけれど、試合の流れは、北千里に大きく傾いて、取り返すことはできませんでした。

しかし、私は2位になったことを、選手に褒めました。

来年の春には、やはりこの北ブロックの4チームで、近畿大会をかけて戦うことになります。

あと半年で、また、チーム作りをやろうと、思っています。

新チームの、紹介・抱負

男子キャプテン 2年生 大林 健人

私達は2年生9人、1年生10、マネージャー2人で、毎日頑張って練習しています。

3年生の先輩の試合を見ては、あんなプレーができたらいいなあ、凄いなあ、自分たちにもできるのだろうか？と、思って応援していました。

その先輩たちも、私学の強豪といわれる此花学院、大商学院、関西大学北陽高校との対戦に、悔し涙を流され、引退されました。

公式戦に、一度も出場したことがない新チームは、とにかく練習を一生懸命頑張り、練習試合では少しずつですが、点も取れるように



なってきました。

何より1年生が、ぐいぐい2年生に追いついてきて、もうすでに、抜かれてしまっているメンバーもいます。

また、退部していく2年生もいて、残っている2年生は、もっとしっかりしないといけないと、強く思っています。

夏の大会では、個人の能力では、数段上の天王寺、生野高校と対戦し、チーム力で勝利することができました。

しかし、新人戦の北千里高校戦では、弱気な面が出てしまい、勝ちを逃してしまいました。

OB・OGの方々の援助で、体育館での練習ができたり、物品補助をしていただき、本当に感謝しています。

だからこそ、自分たちの身体やメンタルを、もっと鍛え、悔いの残らないよう、努力したいと思います。

女子キャプテン 2年生 花光 真紀

私たちは、2年生14人、1年生11人、マネージャー2人の、計27人で、毎日一生懸命活動しています。

春の3年生の引退試合では、勝つことはできませんでしたが、とても凄い追い上げがあり、私たちに、諦めないことの大切さを、教えてくださいました。

新チームに、なって初めての夏休み。

今年の合宿は、とても暑かったのですが、1・2年生ともに成長できた、4日間だったと思います。

その後も、練習試合を、重ねていきました。

夏の秋季大会では、苦戦もしましたが、大阪4位になれました。

新チームでの初めての試合で、緊張もありましたが、チーム一丸となって、乗り越えることができました。

私たちは、初心者ばかりですが、その分伸びる可能性が、たくさんあると思っています。

今は、試合をすれば、悔しいことばかりですが、27人全員で、一生懸命練習し、もっとハンドを楽しんでいきたいです。

訃報連絡

①高女29期 高橋 俱子 (2011年8月親族より連絡)

②高校3期 酒井 良三 (2012年9月15日逝去)

③高校3期 赤鹿 正剛 (2012年9月21日逝去)

会報では故人の方を偲ぶ、現役時代の活躍の状況・エピソード、卒業後の模様、人柄が偲ばれる思い出話を、会員皆様より募っています。

又、赤鹿会長の逝去につきまして、会長の遺徳を偲び、そのお人柄を表わすエピソード・思い出話・こんなことありました等を、一言でも結構ですので、会員皆様の、多数の寄稿をお願いします。

次回2013年7月発行の会報で、「特集」させていただきたいと思えます。

送り先は、今回の会報に同封の別紙「会員だより」を、返信用封筒(事務局・20期寺西)でお送りいただくか、下記OB・OG会メールアドレスにお寄せください。

kanri@neyagawahandball.net

枚方市星丘4-12-8 寺西 啓三 (090-5887-8777)

3代目顧問

「望月伸三郎先生を語る会」 開かれる

昭和35～51年の13年間の在任中に、寝屋川高校ハンドボール部顧問として、女子4回・男子1回のインターハイ出場に導かれ、2006年11月16日に74歳で亡くなりました。3代目顧問の「望月先生を偲び・語る会」が、先生の7回忌に当たる、今年の11月23日勤労感謝の日に、先生の指導を受けられた有志の呼び掛けにより、奥様の望月滋乃さん(旧姓、吉原、6期生)にも参加いただき、ホテル・アゴラ大阪守口で開かれました。

今回の会には、寝屋川ハンドのOB・OGをはじめ、寝屋川ハンドOGを中心とし、生前望月先生が監督をされ、ハンドボールの全

国マスターズ大会に出場されていた「モツピーズ」や、これも又、寝屋川ハンドOB・OGの多数の方が参加され、望月先生が理事長もされていたNPO法人ウエルネス啓発センターの関係者等、38名が参加されました。

当日は、雨が降ったり、やんだりの日でしたが、中にはわざわざ、茨城県から来られた16期大西武三さんや、東京からこの日の為に帰阪された24期小合省三さん、着物姿の15期杉浦洋子さん(旧姓、馬淵)に参加いただき、盛大なものとなりました。

会は、長年高校教師として人前で話すことに慣れられています、22期小森園さん(旧姓、畑中)の爽やかな司会で進められ、まず中央に飾られた望月先生の遺影に対する「献花」からはじまり、参加者全員に先生との思い出の一言スピーチをしてもらう予定でしたが、一人ひとりのスピーチが長く、結局2時間半の会も、全員のスピーチとは、なりませんでした。

又、望月先生が生前に整理されいて、当日奥様が持って来てくださった写真にも、話の花が咲きました。

最後は、参加者全員で記念写真を撮り(巻末)、「語る会」は終わりました。(20期 寺西)



会員だより

3期 森廣 洋子 (旧姓、岡崎)

いつも御世話になり、感謝して居ます。ゴルフも、8年位前にやめました。御一緒にゴルフした方が、なつかしいですネ。

3期 中嶋 直彦

いつも御世話をいただき、有難うございます。これからも、よろしく御願い申し上げます。今、ふっと思い出しました。

「老兵は死なず、消え去るのみ」(オールドソルジャーズ、ネバーダイ：オールドソルジャーズ、パストアウェイ)



5期 松本 由紀子 (旧姓、西田)

私達、現役時代に中出先生に、心身共に鍛え育てていただいた5～10期生(現、多田、望月、金馬、西田、深海、大宮、渚、私)の8人が、猛暑続きの8月4日(土)に、近江八幡市安土町に建立されている、浄厳院に隣接する墓地内の、中出家のお墓まいりをしてきました。

車中では、もっぱら現役時代の先生のご指導のもとでの、練習・練習に明け暮れた日々の思い出話に花が咲き、途中、普通電車への乗り換えも、現役時代に鍛えられた「根性」と「馬力」(年齢的に少々衰えています)で、ホームを突走り、かろうじて間一髪で、乗り換えることが出来たというハプニングもありましたが、墓前で先生の義理の甥に当たられるご住職の、丁寧なご読経の中、一人ずつ焼香をし、先生が他界(2011年7月9日逝去)されてから一年越しに、先生をお見送りをしたことを実感し、何かすっきりした気分で、改めて、先生のご冥福をお祈りして、帰途につきました。

併せて、この紙面をお借りして、昨年10月2日に中出先生ゆかりの有志の者が集まって、先生を「偲ぶ会」が開催されましたが、その際の残金を先生の永代供養料として、浄厳院に納めさせていただきましたことを、ご報告申し上げます。

43期 小林 恭子 (旧姓、奥田)

ごぶさたしております。

昨年、2人目を妊娠、1ヵ月間「切迫早産」で入院したのち、10月に女児を出産しまして、毎日、忙しく過ごしております。

保育園には、なかなか入れないので、できる範囲で細々と、パートの仕事を続けています。

この場をお借りて、ちょっと、お知らせさせて下さい。

私の姉が、神戸・元町で「mr.kanso」(ミスターカンソ)という、缶詰バーをやっています。

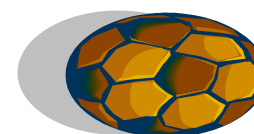
小さい店ですが、所狭しと色々な缶詰が並んでいて、お酒を飲まなくても、楽しめるかと思えます。

テイクアウトだけでもOKですので、お近くにお越しの際には、ぜひひちらっと覗いてみて下さい!!

〒650-0022 神戸市中央区元町通1-12-7

TEL 090-1589-1989 17:00-Last

www.cleanbrothers.net/kanso.html



リレー伝言板

13期 平井 謙二

『ハンドボール部だけは、入部するな!!』

去る9月21日、OB・OG会会長である、赤鹿氏が逝去されました。

昨年7月9日恩師の中出先生、12月31日には同期の親友、大西欣三君と、相次いで亡くなられ、悲しい限りです。

ご冥福を、お祈り申し上げます。

私は、昭和33年(1958年)の入学で、4年振りに復活した、男子ハンドボール部に入部。

当時は11人制が主体で、7人制は女子競技と、男子の冬期の室内競技だけで、この年の公式戦は、全敗でした。

翌年3月、新3年生1人、新2年生11人で、初めての合宿が、和歌県那賀町で、6日間行われました。

宿舎は、県立那賀高校ハンドボール部監督の、自宅の土蔵の2階で、練習は、岩出中学校のグラウンドでした。

我々は、カメラ持参のルンルン気分が出発しましたが、楽しかったのは到着した日のみで、翌日からは、嵐の様な猛練習が始まりました。

朝の6時半から、夕方7時頃迄、食事以外は全て練習で、連日那賀高校ハンドボール部(県の強豪)との試合で、その技術には全く歯が立たず、最後のとどめは、100本のノックシュートで、翌日には、200本となり、正に地獄の5日間でした。

この時、ドリブルが禁止され、ローリングパスからのカットイン、及び、ポストプレイの攻撃システムになり、6人攻撃・6人防衛が確立されました。

ドリブル禁止のプレイなど、何処のチームにも、当時はなかったのです。

これは中出先生が、全日本代表の一員として、ドイツのナショナルチームとの対戦で、相手の早いパスプレイに対応出来なかった、反省に基づくものでした。

この合宿のあと、2人の2年生が退部し、部員は9名となり、春の公式戦は、バスケットボール部の3年生2人に応援に来てもらい、何とか試合は出来ましたが、当然、敗北です。

部員不足を解消する為、先生は個人でも練習が出来るように、ボール打ち板の作戦や、仮想敵の大きな人形を作ったりと、色々な練習方法を考え出されました。

でも、練習は相変わらず、厳しいものでした。

暗くなって、ボールが見づらくなると、石灰を塗って、声を出しながらの、手渡しパスでの攻防戦。

そして、定時制の体育の授業が終わるや否や、スパイクを運動靴に履き替えて、体育館で延々と、7人制の練習。

帰宅は、夜の11時を過ぎていたこともありました。

又、雨の日は、他のクラブは運動場を使用しないので、我々だけの独占使用です。

『雨でも、公式戦は、中止にならない』と云われ、水を含んで重たく、滑り易い皮革製のボールに、四苦八苦したものです。

更に、試合の1週間前からは、必ず早朝練習で、特に冬は辛かったものです。

その年の室内大会で、我々2年生主体のチームで、初優勝。

昭和35年の春休みに、8名の新3年生は、修学旅行も辞退させられて、校内合宿です。

新入生の部員勧誘もうまくいかず、ある幹部教師は彼等に、勉強が大切なので、『クラブ活動で運動部に入るのもよいが、ハンドボール部だけは、止めとけ』と、云われたそうです。

それに加えて、丸坊主になる事が条件というものも、入部拒否の理由だったとも思われます。

この年度が、寝屋川高校創立50周年にあたり、以降、4年間に亘っての、男子ハンドボール部の、大阪のみならず、全国に及ぶ活躍は、周知の如くであります。



寝屋川クラブ会報

中出先生という、凄い指導者に巡り会えた事が、その後の50年の私の人生の中で、特筆すべき事であります。

グラウンド以外では、冗談ばかりで、仇名付けが上手な、面白い先生でしたが、一旦、グラウンド入れば、『鬼の中出』と呼ばれる程、恐ろしい人でした。

その先生が、常々入って居られた事が、『先輩、後輩の区別は、しっかり守らなければいけないが、グラウンドに入れば平等で、一切の区別はしない』と、言って居られた事です。

練習中に、現役選手の疲れがピークに達すると、今度はOB達をば、シゴかれました。

その間、現役は先輩のプレイを見ることで、疲れの回復と、その技術を吸収せよとの、考えだと思います。

最近の現役選手の活躍ぶりは、OB・OG 会会報や新聞等で、拝見しています。

皆さん、悔いのない青春を、大いに楽しんで下さい

私も、老後の生活を、楽しんでいきます。

では、又の会える日まで、サヨウナラ。

(追伸) 次の記述者ですが、寝屋川ハンドで唯一男女同時にインターハイに出場された、男子15期の(11人制)センターフォワードで、キャプテン、卒業後も中出先生とのお付き合いの長かった、木元君か、ゴールキーパーとして大活躍された、秦君をお願いします。

よろしく。

23期 葛木 啓之

高校を卒業し40年以上が経過し、いよいよ平成25年には、「耳順」の年齢となってしまいます。

素直に、人の意見を聞き入れられるようにならないといけない、年齢だそうですが、なかなかそうもいかず、日々是反省の毎日を、過ごしております。

齡、還暦を迎えて歩んできた路を振り返ると、何故か楽しかった記憶より先に、苦しい・悲しい・失敗等の思い出が、先に蘇ります。

私だけでしょうか？

仕事やその他では、成功イメージを思い浮かべている、反動でしょうか？

はたまた、悲哀や挫折や失敗の経験が、ありすぎるからでしょうか？

その苦しい思い出の中で、鮮烈に思い出される1コマは、ハンドボールに明け暮れた、3年間です。

私個人としては、中学時代はスポーツはやっておらず、高校入学後、運動部に入りたくて、どのクラブかを選択する時に、中学時代からの経験者との差がないのは、聞いた事がない、ハンドボール部だと思い、選択したのが運命の分かれ道(笑)でした。

走る・投げる・飛ぶ・転ぶ・ぶつかる・考える、かつ練習も試合も「しんどい」。

「究極」の、競技でした。

これは、経験者しかわからないと思います。

3年間は望月先生の指導のもと、放課後や休日は練習に明け暮れており、合宿や普段時に、先輩が「遊びに」にこられることが多く、当時は指導方法に対して、仲間で「鬼の～、蛇の～、虎の～、仏の～」とか、別称をつけて(失礼)おりました。

幼い我々は、先輩の姿が運動場の端っこに見えると、恐怖(笑)に慄いており、待合わせて来られるのか、鬼や蛇や虎が2・3匹(失礼)、三々五々に登場されるのには、精神的に参った記憶があります(笑)・・・同時に姿みせてよと。

今なら、時間を遣り繰りして、後輩の為に、指導に来られることがどれだけ大変か、諸先輩の有難さがよく判ります。

名前を挙げさせていただくと(申し訳ございません)、大野さん・加堂さん・多賀谷さん・大西さん・木野さん・新堂さん・木村さん・寺西さん他、多数の方々でした。

何故か、今でもお名前がスラスラと出てきます。

不思議です。

又、現在、OB・OG会の運営で活躍されておられる寺西さんは、来校され我々を指導するはずが、諸先輩方に、我々以上に集中的に「鍛えられる(爆)」はめになって、寺西先輩がおられる時は、練習場の雰囲気、何故か和んだものでした。

今となっては、厳しい練習の中の、楽しい思い出です。

指導頂いたにも応えられず、戦績は良くなかったのが諸先輩、後輩に申し訳なく、残念で心残りとなっています。

それだけに現役の方には、卒業してから振り返ってみて、悔いのない3年間を送って頂きたいと思います。

成長期の3年間に激しく鍛えられた、健康な身体・精神力は、どれだけその後の社会生活で役立ったか、OB・OGの方々には、御納得いただける方も多いと思います。

スポーツの持つ原点であり、我が寝屋校ハンド部の素晴らしさでしょう。

周りを見回しても、損得勘定を抜きにした、年代を縦断するボランティア的集団活動の団体は少ないと思います。

現役の方々は、そのような寝屋校でも、稀有なクラブに所属されていることを、自慢に思ってください。

来年には、やっとな余裕ができるようになりそうです？

私にとっては、第3の人生が始まる年になるかもしれません。

人生の基盤を作っていたいただいた、寝屋校のハンドボール部に感謝と共に、これからも側面援助をさせていただきたいと思います。

それと最後になりますが、リレー伝言板のルールに従い、次のランナーですが、同期の女性の谷垣さんか、藤田さん(男性)にお願いしたいと思います。

ご無沙汰しています、いかがお過ごしですか！

済みませんがリレー伝言板、引き継いでユニークで面白い記事、よろしく！

34期 山内 かやる(旧姓、清原)

こんにちは！ご無沙汰しております。

34期のキーパーをしていました、「どん」です。

顧問は、北岡大覚先生でした。

先生には大変お世話になり、ありがとうございました。

同期のエースの「イクラ」から、バトンを受け取りました。

と言いましても、受け取ってから、文才もなく何を書こうかと悩み、ちょっと昔?を思い返しました。

まず、1年生の4月に入部してから3ヵ月間で、10キロ以上体重を、落としました。

ハードな運動をすると食べられなく私は、主食が牛乳とバナナでした。



寝屋川クラブ会報

その後、練習にも慣れて、普通どころか普通以上に沢山食べるようになってからも、引退するまで、体重は落ちたままでした。

それだけ、動いていたんだと思います。

残念ながら、今は、すっかり、元の体重に戻ってしまいました。

また、ハンド部の女子は、みんな飛びぬけて真っ黒で、集合写真で、見つけやすかったです。

家族には、あまりの黒さに、お風呂に入ったのに、「早くお風呂に入り～、泥が取れてないで」と、言われたこともありました。

でもご安心、卒業したら、こんなに色白だったのと、思うくらいになります。

あと、ハンド部が、グラウンドで一番最後まで、練習していたと思います。

帰っていく他の部の人を、横目で見ながら、暗くなって見えにくいボールを必死に、みんなで追いかけていました。

すると、北岡先生が「ボールに蛍光塗料を塗ったら、もっと長く練習出来るんちゃうか」と、真顔で言われました。

実際は実現しませんでした。みんな、少し前に流行った「どんだけ～」と、心の中で、つつこんでいたと思います。

こうやって振り返ってみると、自分なりに、一生懸命やってきたんだなと思います。

そのことは、自分の自信になり、人生での頑張りに、役立ってきたと思います。

でも、頑張るすぎるとなったのは、玉にキズです。

「今」、この時は大変でも、二度とない、かけがえのない時だと思えます。

皆さん、「今」を大切に、楽しんで楽しんで下さいね！

でも、身体には、気をつけて下さい。

現在、結婚して、千葉の某遊園地の近くに、住んでいます。

細々とですが、長年、絵の仕事をしてきました。

お子さんをお持ちの方は、もしかしたら、私の絵を、目にして頂いているかも知れません。

今は、いろんなことが一段落し、第二の人生の幕開け間近な感じ。です。

次のステージも、いろんなことが沢山あると思います。

それでも、「今」を大切に、頑張りすぎずに、頑張るって生きたい。と思います。

人生の節目に、このような振り返る機会を与えていただき、感謝しています。

それでは、次のリレー伝言板の引継ぎ者ですが、この前の同窓会で久しぶりに会えた、同期の安田朋代さん、お願いします。

46期 六尾 加奈子 (旧姓、浜田)

46期の六尾加奈子です。(ムツオと、読みます。)

現役時代は、すぐ頬が赤くなる為、先輩から、「リンゴ」との渾名を頂戴しておりました。

こうしてリレー伝言板の原稿を書くことになったものの、何を書けばよいのやら、とりとめの無いものになること、お許し下さい。

思えば、もう卒業から17年、私が高校を卒業した年に生まれた赤ちゃんが、現役高校生となっている・・・と、たった今、思い至り、びっくりしている次第です。

高校時代にできた友人は、一生の友人となると、よく言いますが、本当にその通りでした。

特にハンド部で出会った同期の皆とは、OG会やメンバーの結婚式など、機会を見ては集まったりしています。

現役当時には、メンバーの個性があまりにもバラバラなので、「同じクラブでなければ、絶対友達になってないよね」などと、言い合っていたものなのですが・・・。

今でも皆に会えば、たちまち心(だけ)は現役当時に戻って、楽しく過ごします。

ハンドボールという絆は、強固なものですね。

私は中学までは、完全に文科系だったので、高校入学後にハンド部に入ると言った時は、両親に驚かれたものです。

スポーツ経験、皆無のくせに、初めてやるスポーツがハンドボールという、ハードなもの。

加えて、入学直後のスポーツテストでの、ハンドボール投げの記録は、5メートル弱！！ときたら、両親の心配も、至極もったいもの。でした。

無謀です。

同期の中では、抜群のお荷物ぶりだったと思います。

ですが、ボールの投げ方から、北岡先生や先輩方に教えていただくうちに、ボールを追い、パスをし、シュートするのが、どんどん楽しくなってきました。

初めて練習試合で、コートに立ったときの事は、今でもよく覚えています。

後半のみの出場であったにもかかわらず、ペース配分ができなくて、試合後、膝が笑って、まともに立ってられず、相手チームの顧問の先生に、心配されたものです。(呆れていたのもあったかも?)

ちなみに、この「相手チームの、顧問の先生」は、現在の寝屋高顧問の、赤星先生でした。

3つ年下の妹が、後に赤星先生のご指導のもと、ハンド部に入っておりますので、ハンドボールが繋ぐ縁は、つくづく不思議なものです。

プレイヤーとしての成長は、とてもスローペースな私でしたが、シュートではキーパーの体スレスレを通す面白さに目覚め、いかに相手キーパーのリーチギリギリを狙うかに、熱中しました。

その結果、同期のキーパーの阪井さん(先輩につけてもらった渾名は「くるみ」)には、練習中、痛い思いをたくさんさせてしまいました。

ごめんなさい。

この場を借りて、お詫びします。

寝屋高を卒業して、短大も卒業した後は、ずっと同じ職場に勤めていました。

気づけば勤続15年、社内では立派な「お局様」状態です。

結婚をし、子供も生まれて、すっかりハンドから遠ざかった生活を送っているこの頃ですが、今でもフト夢に見、思い出すのです。

ハンド部の練習や合宿でのこと、あの試合、この試合。

そして、決まって、夢の中で走り回る現役時代の私に、ダメ出しします。

「フェイント、甘いつて!!」←いちばん苦手でした。

それではこの辺で、次回のリレーの引継ぎ者のリクエストですが、1学年下の和田 圭司さん(面識はほとんどないけれども、小学校が



寝屋川クラブ会報

同じつながりで・・・)か、西嶋 真由美さん(47期マネージャー)、よろしくお願ひします。

48期 新山 孝

私が寝屋川高校を卒業してから、早や16年が経ちました。

でも、あの泥まみれになりながら、ボールを追い駆けたハンドボールコート、歴史を感じさせる温もりのある部室の光景が、今でも鮮明に思い出されます。

ハンドボールが好きで楽しくて、受験そっちのけで、高校3年の夏の大会まで残りましたが、実はハンドボール部入部の動機は、高校入学の1年以上も前に遡ります。

中学生当時、所属していたバスケットボール部の顧問が、寝屋川高校のバスケットボール部顧問と繋がりがあった関係から、一度、寝屋川高校バスケット部に胸を借り、練習に行ったことがあり、当時バスケット選手としてはくすぶっていたのでしょうか(笑)、たまたま休憩時間に目にしたハンドボールというスポーツが、この上なく面白そうなスポーツに見えて、自分に合うのではと、勝手に思い込んだことがきっかけでした。

運良く、寝屋川高校に合格した私は、意気揚々とハンドボール部に仮入部しましたが、大きな理由はなかったのですが、肌に合わず即退部してしまいました(笑)。

退部後、しばらくぶらぶらしていた私に、同じクラスの平野君から、ある先輩が私に話しがしたいということで、昼休みにクラスルームの廊下に呼び出され、当時、同学年のハンドボール部員数名と共に来たその先輩に、「新山君なあ、なんか仮入部期間に、あんな事言っでごめんなあ。

良かったらもう一度、入部せえへんか？」と言われた私は、「へ、何のこと？」と内心思いながら、その先輩と他の部員に、半ば押し切られた形で再入部したわけです。

今思えば、大変有難い、お声掛けでした。

再入部してからは、同期、先輩、後輩にも恵まれ、振り返ってみると楽しい思い出ばかりの、3年間を過ごす事が出来ました。

確か、高校2年の終わりの頃だったでしょうか、当時顧問の北岡先生が、他校(淀川工業高校)に異動される事になりました。

北岡先生のご指導のお蔭で、チームとして纏まりも出てきて、練習試合を重ねるたびに、結果が出ていましたが、高校2年の秋の大会では、初戦敗退してしまいました。

この事もあってか、同学年の全部員で出場するのが最後となる、高校3年の春の大会まで、北岡先生にご指導を仰ぎたいと懇願し、先生も快諾して下さいました。

以後、先生は、淀川工業高校での授業が終わり次第、コートに駆けつけ、厳しい指導をして下さったお蔭で、春の地区大会では、見事優勝する事が出来ました。

優勝決定直後の円陣で、先生がうっすら涙目で、「おめでとう」と言われた瞬間、それが私にとって、一番の思い出です。

それでは、次回の寄稿者ですが、49期生の新久保君に、お願い出来れば幸甚です。

よろしく。

57期 朝倉 佐知

私は今、社会人4年目を迎え、飲料メーカーで、営業の仕事をしています。

2009年に入社し、首都圏で3年半働き、この秋に、大阪に転勤になりました。

地元大阪に戻れた事を、本当に嬉しく思いながら、毎日働いています。

(寝屋川高校でも、自動販売機を設置して頂いており、お世話になっております。笑)

寝屋川高校のハンドボール部に所属した、3年間を振り返ってみると、先生、先輩、同級生、後輩と、周りの方々に恵まれながら、笑顔の絶えない場所だったと思います。

どれくらい、笑顔が絶えなかったかと言うと・・・、練習中に転倒することがあった際は・・・、誰も助けてくれず、爆笑の渦です、手を叩いて笑われます、それほど笑顔が、絶えませんでした(笑)。

女子ハンドボールに、入部を決めた一番の理由は、運動部に入りたかった事もありますが、部の雰囲気がとても、温かかったからです。先輩達は皆さん面白くて、きっと楽しく部活動できると思い、入部を決めました。

部活以外でも、枚方パークへ皆で遊びに行ったり、ご飯を食べに行ったり、先輩達との楽しい思い出が、いっぱいあります。

「つなげ、愛パス♥」と書かれた、お揃いのシャツを着て練習していた日々が、本当に懐かしいです。

そんな先輩達が引退された後は、同級生は2名しかいなかったもので、3人で支えあいながらの活動でした。

練習をする際にも、試合形式にするには、人数が足りなかったり、三角ポールを相手に見立てて練習したり、男子ハンドボール部の方に入って頂いたり、苦勞することも沢山ありましたが、最後まで3人で続けてこれたことを、嬉しく思っています。

また、そんな3人に付き合ってくれた、明るい後輩の皆にも、感謝しています。

3年間の女子ハンドボール部での活動を通して、学んだことは、人と人との繋がり大切さです。

同級生3人は、今でも定期的にご飯を食べに行ったりする、仲です。仕事をしている中でも、人と人との繋がりや、関わり合いが本当に大切に、部活動での経験を活かしながら、働いています。

お世話になりました、皆さん、本当に有難うございました。

それでは、次の伝言板引継ぎ者ですが、同期の小鳥 弘記さんか、栗林 輝さん、お元気ですか？

引き継ぎ、よろしくお願ひします。

62期 清家 佑介

61期の石井先輩、指名ありがとうございます。

お元気そうで、何よりです。

現在、関東で一人暮らしをしていて、OB会報を読む機会がなかったもので、役員さんから電話を頂いたときは、「何の話だ？」と驚きました。

現役生へ

僕が現役頃のハンドボール部は、現在もコーチをされている加堂さん(14期)に、主に指導して頂きました。

当時は部員が少なく、最も少ない時は、同期4人、先輩が5人でした。

現役時代の忘れられない試合は、2年生の時の新人戦、千里高校戦



です。

新人戦直前の練習試合で、勝った相手でした。

しかも、相手はダブルヘッダー、寝屋川が有利でした。

加堂さんも、いつも通りやれば勝てると言っていて、部員もそう思っていました。

しかし、試合という物は、いつも通りできないもので、試合開始早々エースポジションの、同期の川端が、膝の靭帯を損傷し離脱、2年生4人しかいない僕らにとっては、大きな痛手でした。

前半はなんとか2点勝って、折り返しました。

しかし、控え選手の練習が足りず、逆転負けをしました。

当時は、「川端が、怪我をしなかったら…」と思いましたが、やはり選手層の薄さが問題でした。

現役生は、人数が多いという事なので、控え選手もたくさんいると思います。

「俺はどうせ、控えだから」と、というような心境で練習するのではなく、「スタメンが怪我をしたら、俺が出るんだ!!」と、いう気持ちで、練習してほしいと思います。

そしてまた、効率の良い練習環境を与えてくれる部員、コーチ、顧問の先生、OB・OG会の方々に感謝し、毎日の練習に励んでもらいたいと思います。

卒業後

一浪して、慶應大理工学部に入りました。

大学に入ってハンドボール部に入ったのですが、週6、毎日17時～22時まで（練習は3時間）体育館にいて、そこから筋トレ、家に帰ってレポート、製図、家事……、オフの日はバイトという、生活をおくっていたのですが、あまりにきつ過ぎたので、ちょうど1年前くらいに、辞めました。

現在は、サイクル部に入って、博多～大阪まで旅をしたり、レースに出たりと、そんな毎日を送っています。

大阪に帰省した際は、母校に顔を出したいと思います。

加堂さん!!後輩の応援、指導に行けなくてすいません。

ビール片手に、現役生の話でも、聴かせてください!!

最後に今回の伝言板は、中学の後輩でもある、63期の四田!!、元気にしているか?

よろしく!!

62期 松前 雄也

お疲れ様です。

62期生の松前です。

1つ上の笠原先輩から、ご指名を頂いたみたいなので、とりあえず書きたいと思います。

自分は寝屋川高校を卒業してから、地方の大学に進学したわけですが、この大学生活で、悪い方向に変わってしまいました。

趣味がPCゲーム、麻雀、ギャンブルといった、高校の時には考えられないことばかりしているなど、今、この文章を書いている、思います。

高校を卒業してから、ハンドボールには全くと言っていいほど、関わりがないわけですが、当時のことを、少し思い出してみようと思います。

今は、ハンド部は部員が多いのかも知れませんが、自分の代である、62期生はわずか4人しかおらず、来年度部員入ってこなかったら困るよねと、いう話をしていたのを覚えています。

次の年は、宮崎大輔選手が有名になって、結局、後輩がたくさん入ってきてくれて、うれしかったな～。

ただ、やはり人数が多いと、チームとしてまとめるのが、大変だったのではないかなと、思います。

特に、この時の部長さんは、大変だったのではないかと…。

同期は4人しかいないし、自分はチームをまとめるのは苦手だったし、後輩からも、頼りない先輩と、思われていたかもしれないです…

あと、タイミング悪く風邪ひいたり、怪我したりなどで62期生は、ほとんど4人揃って公式戦に出たことがないという、悲惨なこともありました。

今、思うとひどいな、62期生…。

同期でも、女子は強かったんですけどね…

今は、男子も、強くなったみたいですね。

1年くらい前に、会報を読んで、寝屋川が勝っていたのを見て、嬉しかったです。

自分たちの世代が、あまりいい結果を出せなかったのですが、こうやって現役の子が勝ってくると、嬉しいです。

急に話が飛びますが、自分は今、大学3年生です。

人生の山場みたいなものを、迎えています。

それは就職するか、大学院に行くかという、とても困った問題です。

研究室を選ぶのにも、迷ったのに、また、こうして悩まなければいけないという…。

しっかり決めないと、いけないです。

最後に、少し愚痴を言いましたが、次に書いてもらう人を、指名しようかなと思います。

次回引継ぎ者は、出来るだけ同期は避け、男女交互ということですが、お恥ずかしながら女子の名前知らないです。

というわけで、自分の1つ下の後輩で、63期生の山里君に、お願いしようと思います。

よろしくね～。

①「リレー伝言板」では、会員の皆さんを大体10年単位で8グループに分けて、OB・OGの皆様へ近況やハンドボールへの思い、現役の時の思い出等を自由に語っていただき、同期、先輩、そして後輩へリレー形式でつないでもらっています。

②また、掲載された内容についての感想、コメント等(字数制限なし)を、OB・OG会メールアドレス kanri@neyagawahandball.net、又は、同封の返信用封筒(事務局・20期寺西)で、お寄せください。会員の皆さんに紹介をし、会員相互間の親睦の輪を広めていきたいと思っています。

③次回は、あなたが指名されるかも…。(記事で、次回指名された方には、後日会報発行前にOB・OG会事務局より、依頼連絡させていただきます。)是非この伝言板を利用して、なつかしい方々へ、あなたの熱いメッセージをお送りください。





< 編集後記 >

1. 案内、第64回全日本総合ハンドボール選手権
2012年12月19日(水)～23日(日)
大阪市中央体育館

2. 2012年、辰年は、昨年3月11日午後2時46分東日本大震災の復興に向けての、電力・原子力発電問題、3回目のロンドンオリンピック、尖閣・竹島・北方領土の領土問題、デフレ不況による就職難、収入40兆円強で、92兆円の財政で、増える国家の赤字財政と、様々な国家問題を抱え、年末12月16日には、2008年8月以来の、総選挙が行われます。

この先行き不透明・混迷する時代、皆さん、国民の権利・義務であります、選挙権(投票)を行使しましょう。

3. 住所・氏名・電話の変更・訃報等がありましたら、OB・OG会のHPアドレス、又は、会報に同封の返信用封筒(費用受取人負担)により事務局まで、ご一報ください。

kanri@neyagawahandball.net

<事務局> 寺西 啓三 (20期)

〒573-0013 枚方市星丘4-12-8

メールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

TEL 090-5887-8777

FAX 072-849-7237



<2012年11月23日 3代目顧問 望月伸三郎先生を語る会 記念写真 ホテル・アゴラ大阪守口>